



## とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



|      |   |
|------|---|
| 事業者名 | 福山建築  |
| 所在地  | 鳥取県倉吉市山根 539-1  |
| 代表者  | 松本 晃一   |
| 業種   | 建設業   |
| 事業概要 | <p>鳥取県中部の倉吉市に本社を置き、令和5年で創業64年になる工務店です。</p> <p>1996年より高気密・高断熱・高耐震住宅に特化した住宅を提供し続けています。お施主様が健康に過ごすことができるよう、いつの時代も見劣りしないデザイン、地震などの災害からも大切な家族を守る事が出来る資産価値の高い家づくりを提案・提供しています。</p> |

# とっとりSDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名: 福山建築]

## 2030 年に目指す姿

**1-1<2030 年に目指す姿>** SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。  
 ※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

鳥取県では県民の健康の維持・増進、省エネ化の推進及び CO2 削減を図ることを目的として、戸建住宅を新築する際の県独自の省エネ住宅基準(とっとり健康省エネ住宅性能基準。下記参照。)が策定されています。基準は断熱性能で T-G1、T-G2 と最高グレードの T-G3 と、3 段階のグレードが定められています。

弊社としては令和 6 年新築において T-G2 以上の住宅を 100%という目標を目指し、ZEH+のエネルギーを創り出す住宅を提供していくことで、地域のまちづくりに貢献し、資産価値の高い住宅の建築、改修工事を通じて、技術・知識の継承、職人スタッフの成長と生活の安定、企業としての成長と安定を目指していく企業でありたいです。

現在はお施主様にわかりやすく高性能住宅のメリットをお伝えしているほか、建築関係者向けにとっとり健康省エネ改修住宅の見学会を行っており、自社のみならず省エネ改修を行える施工業者を増やすことで、鳥取県の既存住宅の省エネ改修の普及に取り組んでおります。

地球環境に配慮しながら、今後もより快適な家づくりに取り組み、豊かな暮らしをご提案できるよう邁進し、SDGs の達成に貢献してまいります。

### とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』性能基準の概要

□ 国の省エネ基準を上回る3段階の基準を令和2年1月に策定

| 区分                    | とっとり健康省エネ住宅性能基準 |                              |                        |   |                   |
|-----------------------|-----------------|------------------------------|------------------------|---|-------------------|
|                       | 国の省エネ基準         | ZEH (ゼッチ)                    | T-G1                   | T-G2  | T-G3              |
| 基準の説明                 | 次世代基準 (H11年)    | 2020年標準 政府推進                 | 冷暖房費を抑える ために必要な 最低限レベル | 経済的で快適に 生活できる 推奨レベル                                 | 優れた快適性を 有する 最高レベル |
| 断熱性能 U <sub>t</sub> 値 | 0.87            | 0.60                         | 0.48                   | 0.34  | 0.23              |
| 気密性能 C値               | —               | —                            | 1.0                    | 1.0   | 1.0               |
| 冷暖房費削減率               | 0%              | 約10%削減                       | 約30%削減                 | 約50%削減  | 約70%削減            |
| 世界の省エネ基準との比較          | 寒<br>●日本 (0.87) | ●日本 (0.60)<br>日本は努力義務 欧米は義務化 | ●欧米 (0.48)             | ●フランス(0.36)<br>●ドイツ(0.40)<br>●英国(0.42)<br>●米国(0.43) | 暖                 |

令和 6 年新築において T-G2

以上の住宅 100% 目標

**1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組>** 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

社会 9 地産地消

経済 9 雇用の維持・拡大

環境 9 環境配慮型商品・サービスの提供

### 1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

健康省エネ住宅を提供し続けることで消費エネルギーを抑えられ、更に ZEH+を目指すことで創エネにも貢献できると考えております。健康省エネ住宅に暮らしていただくことで、様々な疾患を予防・改善し、長く健康で住み続けられる住宅として、まちづくりに貢献につながると考えております。住宅木材に県産材を積極的に使用し、地産地消を促し、地域社会に貢献することも大切に考えております。弊社の取り組んでいる高性能な健康省エネ住宅や省エネ改修は、資産価値を維持・向上するものとして、将来的に空き家になる可能性も抑制され、流通するもの、住み継がれていくものとしてもまちづくりに貢献できるものと考えております。また、技術力を要する健康省エネ住宅の建築や改修を推進することが、希少となってきた職人の雇用につながり、技術・知識の承継に資するものと捉えております。

負の影響としては、住宅の建築において、今もほとんどの資材が原油由来、依存であることです。抑制につとめるものの、製造・運搬の過程において、CO2 を排出することが負の影響となります。また、製造・運搬の過程だけでなく、建築現場での建築工程でも廃棄物が出るのが負の影響になります。

| 取組              | 正の影響 主なキーワード       | 負の影響 主なキーワード      |
|-----------------|--------------------|-------------------|
| 地産地消            | 地域社会への貢献           | 森林伐採              |
| 雇用の維持・拡大        | 地域社会への貢献           | 収益性低下             |
| 環境配慮型商品・サービスの提供 | 健康、省エネ<br>地域社会への貢献 | 森林伐採、CO2 排出、廃棄物排出 |

## 社会

|   | 取組項目      | 取組確認 | 現在の取組<br>(実施内容や時期などを具体的に記載)   | 今後の目標・目標達成に向けた取組   |
|---|-----------|------|---|--|
| 1 | 労働災害の防止   | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者による現場報告(現場の実態)を行い、現場担当者が労災防止のための安全対策を行っている。</li> <li>・長時間労働とならないように、週1回NO残業デーとして行っている。</li> <li>・安全管理について全体会議で周知している。</li> </ul>   | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働災害発生件数ゼロ(R6年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検マニュアル作成、事故の発生を防ぐため点検強化の実施を行う</li> </ul>   |
| 2 | ハラスメントの防止 | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則にハラスメント防止規程を作成している。社員は随時閲覧可能となっている。</li> <li>・外部通報窓口を設置している。</li> </ul>   | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントの通報件数ゼロ(R6年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部通報窓口を活用してハラスメントの件数を把握する。</li> <li>・社内及び社外(顧問社労士など)による研修を行い、社員全員がハラスメントに対する意識を高め防止に努める。</li> <li>・ハラスメントを含むコンプライアンス研修を定期的(年1回程度)に実施する。</li> </ul>   |
| 3 | 女性の活躍     | ○    | <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合 約30%(R5.3月時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 0%(R5.3月時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輝く女性パワーアップ企業への登録</li> <li>・子育て世代の女性が働きやすいように、時短勤務を可能にしている(個別相談に応じている)。</li> </ul> | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全従業員に対する女性の割合 R8年35%、R10年40%</li> <li>・全管理職に対する女性管理職の割合 R8年20%、R10年30%</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修等への参加促進など、キャリアアップを支援する。</li> <li>・女性が活躍、キャリアアップできるように評価制度の改善、見直しを行う。</li> </ul>   |
| 5 | 多様な人材の活躍  | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒、中途採用を行っている。</li> <li>・年齢、国籍問わず採用を行っている(入社時年齢19~46歳、中国籍の職人の採用実績もあり)。</li> <li>・営業から職人への配置転換など、本人の希望と適性を考慮して活躍の場を提供している。</li> </ul>  | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職人の人材育成を進める。工種ごとに一人前(その工種のひと通りの作業を一人でできる状態)を育成する。</li> <li>・若年層の人材確保する。平均年齢R4年41歳、R8年41歳を目標とする。</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職人のスキルアップ(年1回)のための技術講習会を行う。</li> <li>・ホームページを利用して多様な人材を採用する宣言をする。</li> <li>・若年層の確保のため、リファラル採用、UターンやIターンの受入を行う。</li> </ul> |
| 6 | 多様な働き方の促進 | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員の健康を確保するため有給休暇(年5日以上)の確実な取得を実施している。</li> <li>・時短勤務、テレワーク認め、活用を促している。</li> <li>・時短、テレワーク等働き方でも業務に支障が生じないよう、クラウドの活用や会議体の整備で情報共有できる仕組みをつくっている。</li> </ul>                    | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇取得率を増やす(R5年:R4年比20%増、R8年:R7年比5%増)</li> <li>・時間外労働を減らす(R5年:R4年比5%減、R8年:R7年比5%減)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の働き方を踏まえ、より柔軟な働き方、有給休暇がとりやすい環境となるように勤務形態を見直す。</li> </ul>   |

|    |   |   |  |   |
|----|---|---|--|---|
| 7  | <b>労働者への人権配慮</b>                                  | ○ | <b>【主な取組】</b><br>・社員が安心して働ける会社、誇りをもって働ける会社を目指していることを代表が全体会議で周知している。<br>・時間外労働は全体会議にて事前申請を周知徹底し、原則として承認されたものでなければ時間外労働が認められないなど、過剰労働を防止できるようにしている。時間外労働が過剰と思われる社員に対しては個別にヒアリングを行い、体調に問題がないかなどの確認を行っている。 | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・時間外労働を減らす(R5年:R4年比5%減、R8年:R7年比5%減)。<br>・評価を見える化できる評価制度を作成する。(R6年)<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・時間外労働が過剰と思われる社員へのヒアリング、個別指導、社労士面談などの実施。<br>・評価制度表を作成し、人権に配慮した職務行動が評価される仕組みにする。                                 |
| 9  | <b>地産地消</b>                                       | ○ | <b>【主な取組】</b><br>・構造材は県産材を使用した住宅づくりに取り組んでいる。<br>・企業理念で地元へ貢献することを大切にしており、できるだけ県内の事業者と取引するようにしている。   | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・構造材は県産材使用の住宅を100%にする(R6年)。<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・県産材使用に関する補助金(とっとり住まいる支援事業、とっとり未来型省エネ住宅特別促進事業)の活用をお客さまへPRする。<br>・製材業者と連携して県産材活用を推奨し産業植林へつなげる。  |
| 10 | <b>地域社会への貢献</b><br><u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u> | ○ | <b>【主な取組】</b><br>・夏休み職場体験(大工)イベント(年1回)の開催。<br>・現場周辺の近隣の雪かきの実施。<br>・ホームページのブログにて会社の事業や取組みに関連して近隣のお店もご紹介している。<br>・NE-ST T-G3 認定住宅の完成見学会を建築関係者向けに実施している。<br>・Re NE-ST 事業者向け現場講習会にて、参加者への指導を実施している。        | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・NE-ST 認定物件の完成見学会を継続的に実施(毎年)<br>・Re NE-ST 認定物件の完成見学会を新たに実施(R6年)<br>・NE-ST、Re NE-ST 事業者向け講習の実施(R6年)<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・NE-ST、Re NE-ST のメリット等について幅広い方に認知・理解して頂けるよう積極的に情報発信し、資産価値の高い住宅が鳥取県に普及するよう働きかける。 |

経済

|   | 取組項目                      | 取組確認 | 現在の取組<br>(実施内容や時期などを具体的に記載)  | 今後の目標・目標達成に向けた取組  |
|---|---------------------------|------|--|---|
| 2 | セキュリティ対策                  | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルス対策ソフトの導入やOS等の定期的更新、重要情報へのアクセス制御を行っている。</li> <li>・お客様から個人情報を提供いただく場合には、書面にて利用目的を明確にし、口頭で説明し、その範囲内で利用している。</li> </ul>  | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取扱いについて全体会議で周知徹底する。(R6年)</li> <li>・会社や関連施設に出入りする際のセキュリティルートを運用する。(R6年)</li> <li>・クラウド上のデータについて、アクセス権限が付与された運用を行う。(R6年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取扱いに関するガイドラインを作成する。</li> <li>・取引先や運送・清掃業者など、建物に出入りする方へのセキュリティ上のルールを設定する。</li> <li>・クラウド上のデータについてアクセス権限を見える化する。</li> </ul> |
| 3 | 法令順守の取組の徹底<br><b>必須項目</b> | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週次の幹部会議の進捗報告の中で、法令違反に該当することが行われていないかどうか確認している。</li> <li>・建設業法や労働法など、法改正があった場合、全社員に朝礼や全体会議で周知徹底している。</li> <li>・各種セミナーへ参加し法令に関する知識習得に努めている。</li> <li>・内部通報窓口を管理部に設置し、全体会議で周知している。</li> </ul>   | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令違反ゼロ。(R6年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の事業に関わる法令の把握、整理して見える化する。</li> <li>・法令順守の重要性を代表より全体会議にて周知してもらう。</li> <li>・コンプライアンス研修を定期的(年1回程度)に実施する。</li> </ul>   |
| 4 | 情報公開                      | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやSNSにおいて、完成見学会・引渡し式・地鎮祭・上棟などイベントなどを掲載している。</li> <li>・ホームページのブログ・コラムで事業活動を積極的に公開している。</li> <li>・ホームページの解析を行い、どのページが関心を持たれているかチェックし、ホームページの改善を行っている。</li> <li>・全体会議にて会社方針や計画を説明、共有している。全体会議資料の重要事項は金融機関にも提出、説明を行っている。</li> </ul> | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開基準について全体会議で周知し、これに則った運用を行う。(R6年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開基準を作成する。</li> <li>・公開されている情報を整理し、見える化する。</li> </ul>   |
| 5 | 後継者の確保                    | ○    | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者育成の研修に幹部が参加している。</li> <li>・週次の幹部会議に外部コンサルタントに参加してもらいながら経営改善を行い、後継者育成を行っている。</li> </ul>  | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人化する。(R6～8年)</li> <li>・代表有事の際のマニュアルを幹部会議で共有し、有事の際にはそれに従った行動を起こせるように認識しておく。(R6年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より魅力的な会社にするための財務内容・資金繰り改善と法人化の検討を行う。</li> <li>・代表有事の際の対策・対応についてのマニュアルを作成する。</li> </ul>  |

|    |                   |   |   |  |
|----|-------------------|---|---|--|
| 6  | コロナなどの市場変化を見据えた対応 | ○ | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を発端としたウッドショックやインフレによる原価上昇を販売価格に反映させると共に、お客さまへ丁寧な説明を行って理解を得るようにしている。</li> <li>・在宅時間が長くなったこと、光熱費等の上昇で健康省エネ住宅の注目は高まってきている。当社はNE-STに適合し、かつ、将来的にも家計の負担を軽くし、住み継がれていく住宅としてサステイナブルデザインハウスを提供している。</li> </ul>  | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NE-ST 適合住宅 100%を中部から東部へと注力するエリアを拡大し、鳥取県の住宅品質向上に貢献する。(R6 年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より健康省エネへの関心が高く、所得水準も高いと思われる鳥取市を中心とした東部エリアに積極進出、モデルハウスを活用する。</li> <li>・提供する住宅に商品名をつけるなど、より消費者に届きやすくなる、消費者目線の改善を行う。</li> </ul>   |
| 7  | 自社以外の経営資源活用       | ○ | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部コンサルタントを活用して業界情報や他県での取り組みなど業界動向のキャッチアップを行っている。</li> <li>・とっとり健康・省エネ住宅推進協議会に「とっとり健康省エネ改修住宅」の見学会の開催支援をしてもらっている。</li> <li>・鳥取県木造住宅推進協議会の会員より、イベント開催方法や、非住宅木造拡大推進事業の助言をいただいている。</li> </ul>  | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供する健康省エネ住宅の訴求力を向上するエビデンスを増やす。(R6 年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部コンサルタント、大学教授などを活用して情報収集を行い、健康省エネ住宅の訴求ポイントの整理・分析を行う。</li> </ul>   |
| 8  | デジタル化による生産性向上     | ○ | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール及び顧客管理システムを導入・運用している。全社員が共有された状態で顧客対応できたり、タスクの進捗を確認できる状態になっており、生産性向上に寄与している。</li> <li>・web 上での見積書・請求書 各種資料作成と複数種類でのデータ保存管理。</li> <li>・web 会議を実施しており、物理的な移動時間を少なくするなど、効率的な時間の使い方がされてきている。</li> </ul>   | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働生産性の改善<br/>R4 年 900 万円→R6 年 1,100 万円</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール及び顧客管理システムを十分に活用し、作業の抜け漏れや遅延が生じない仕組みを構築する。そのためにシステム会社による研修を実施する。</li> <li>・歩留り、リードタイム、職人稼働率などデータ化する資料を整理して見える化する。</li> <li>・共有資料は権限設定の上で同時更新が可能な形式に変更して作業効率を上げる。</li> </ul>                              |
| 9  | 雇用の維持・拡大          | ○ | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員が安心して働ける会社、誇りをもって働ける会社を目指していることを代表が全体会議で周知している。</li> <li>・子育て世代の女性が働きやすいように、時短勤務を可能にしている(個別相談に応じている)。</li> <li>・営業から職人への配置転換など、採用後も本人の希望と適性を考慮して活躍の場を提供している。</li> <li>・健康省エネ住宅の建築、改修工事により事業を維持拡大していく。健康省エネ住宅の建築、改修工事を通じて、技術・知識が継承されるよう、職人の雇用と成長機会(これまでほとんどなかった省エネ改修工事への取り組み)の提供を行っている。</li> </ul> | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均勤続年数の伸長<br/>R4 年 5.8 年→R8 年 8.5 年</li> <li>・評価を見える化できる評価制度を作成する。(R6 年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価制度表の作成し、会社が重視していることを可視化してミスマッチが生じないようにする。</li> <li>・評価のフィードバック面談を行い、本人の希望と会社の期待事項の擦り合わせる機会を設ける。</li> </ul>   |
| 10 | 人材育成・能力開発         | ○ | <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価を行い、社員にどのような社員になって欲しいのかという方針を伝えている。</li> <li>・外部研修に、積極的に参加し活用するよう取り組んでいる。</li> <li>・外部研修への参加を推奨している。</li> <li>・業務品質向上のため、品質チェックリストなどマニュアル化を進めている。</li> </ul>  | <p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価を見える化できる評価制度を作成する。(R6 年)</li> <li>・従業員のスキルアップを図るため、ジョブローテーションを行う。(R8 年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の視点や社会への責任を考え、会社(社員一体)となり、より良い家づくりの提案ができる人材を育てていくために、外部研修への積極的参加、社内教育を行い人材育成に努める。</li> <li>・業務に必要なスキルマップを作成し、社員の現状スキルを把握する。</li> <li>・スキルが評価に考慮される評価制度表を作成する。</li> </ul> |

環境

|   | 取組項目  | 取組確認 | 現在の取組<br>(実施内容や時期などを具体的に記載)   | 今後の目標・目標達成に向けた取組  |
|---|---|------|---|---|
| 1 | <b>【気候変動リスク・機会の分析・対策①】</b><br><b>自然環境の変化が経営にもたらす影響</b>            | ○    | <b>【リスク・機会の分析】</b><br>・気候変動による温暖化など、住宅の高性能化、省エネ化は必須となっており、適応した住宅の提供、リフォームができなければならない。<br>・気候変動の影響で台風や洪水といった災害が生じた場合に、資材発注・資材入荷が不能となり工期の遅延や、急激に価格が上昇するリスクがある。<br><br><b>【分析に基づく主な取組】</b><br>・多種多様な商材、メーカーや取扱店など販路を増やし、有事の際の切り替えを想定しておく。<br>取引先の拡大に努め、工法や部材もバリエーションを用意しておく。                                   | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・資材調達先/取引業者数を10%増やす。(R8年)<br>・資材調達に不具合等が生じた場合の代替手段として、新しい部材や工法などの知識を習得しておく。<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・敏速に対応可能な状態を確立するため、資材などの調達先の拡大準備をしていく。<br>・新しい工法、部材だけでなく、既存の商材も工夫して設計・計画していくことで、資材調達不能などの有事に備える<br>・新しい部材や工法などについてのセミナー、研修に参加する。 |
| 2 | <b>【気候変動リスク・機会の分析・対策②】</b><br><b>社会・制度の変化が経営にもたらす影響</b>           | ○    | <b>【リスク・機会の分析】</b><br>・環境への適合などを基本方針とする政府策定のエネルギー基本計画において、2030年度以降新築される住宅について、ZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指すことが明確になっており、対応しなければならない。<br>・断熱等性能等級も6、7が新設された。<br><br><b>【分析に基づく主な取組】</b><br>・ZEH(Nearly ZEH 含)住宅9割以上。<br>・断熱等性能等級を標準6等級以上としている。<br>・とっとり健康省エネ住宅の新築に係る事業者登録に登録<br>・鳥取県の既存住宅の改修に係る事業者登録制度に登録。         | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・ZEH(Nearly ZEH 含)住宅100%。(R5年以降)<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・ホームページやSNSで健康省エネ住宅や当社の実績について情報発信していく。<br>・とっとり健康省エネ改修住宅の完成見学会などを積極的に実施していく。  |
| 3 | <b>【環境負荷リスクの分析・対策】</b><br><b>自社の事業活動が引き起こす影響</b>                  | ○    | <b>【リスク・機会の分析】</b><br>・住宅建築事業に関して部材の製造(生産)過程でCO2を排出する。<br>・現場への物流時、各現場での生産時に発生する廃棄物・排出されるCO2がある。<br>・現場への移動時にCO2を排出する。<br><br><b>【分析に基づく主な取組】</b><br>・県産材を使用した住宅づくりで物流時のCO2排出を抑制している。<br>・建築現場で木材はもちろんのこと、素材別に廃棄物を分別している。<br>・断熱ボードのプレカットにより物流効率をあげている。   | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・構造材は県産材使用の住宅を100%にする(R6年)。<br>・1現場当たり廃棄物R4年比較でR6年5%削減、R8年10%削減。<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・新築、改修に使用する木材を県産材にする。<br>・毎週の工務会議で工程の効率化を進め、工期短縮を図ることで現場で出る廃棄物を減らす。   |
| 4 | <b>【カーボンニュートラル①】</b><br><b>&lt;省エネ&gt;燃料消費量の削減</b><br><b>重点項目</b> | ○    | <KPI><br>CO2 排出量 71.58t-CO2/年(R4年時点)<br>・R4年の社用車の燃料消費量は30515.900、総CO2排出量は71.58tとなった。<br><br><b>【主な取組】</b><br>・人員増に伴って安易に社用車が増えないよう、社用車の使い方を見直している。<br>・安全運転、エコドライブによりガソリン使用料の削減を進めている。<br>・自社の事務所についてはセルロースファイバーによる断熱処理を天井・壁に施しており(床は下が別事業者のため未実施)、当初動力エアコン4台となっていたところ、家庭用エアコン3台(うち1台はほぼ未稼働のため実質2台)で運営している。 | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br><KPI><br>CO2 排出量 64.41t-CO2/年(R8年時点)<br>・社用車の燃料消費量をR6年にR5年比5%削減R8年にR5年比10%削減する。<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・燃料消費量削減を実施するため、クラウドサービスなどを活用して燃料消費量の見える化を進める。<br>・エネルギーコストの低い自動車への切り替えを検討する。  |

|    |   |   |   |  |
|----|---|---|---|--|
| 5  | <b>【カーボンニュートラル②】</b><br><b>&lt;省エネ&gt;電力消費量の削減</b><br><b>重点項目</b> | ○ | <KPI><br>CO2 排出量 12.57t-CO2/年 (R4 年時点)<br><br><b>【主な取組】</b><br>・使用しないスペースの電気は消すことを徹底している。<br>・時間外労働の抑制で営業時間外の電力消費量を削減している。<br>・LED電球への取替え。<br>・自社の事務所についてはセルロースファイバーによる断熱処理を天井・壁に施しており(床は下が別事業者のため未実施)、当初動力エアコン 4 台となっていたところ、家庭用エアコン 3 台(うち 1 台はほぼ未稼働のため実質 2 台)で運営している。 | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br><KPI><br>CO2 排出量 11.32 t-CO2/年 (R8 年時点)<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・事務所のレイアウト変更も含めて業務効率化を検討し、電力消費量を抑制する。<br>・空調の温度設定を社内で統一した基準を設ける。<br>・営業時間外の電力消費量を削減する。  |
| 7  | <b>廃棄物の削減</b><br>※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください           | ○ | <KPI><br>総廃棄物発生量 235.9t/年 (R4 年時点)<br>1 現場当たりの廃棄物発生量 4.6t/年 (R4 年時点)<br><br><b>【主な取組】</b><br>・建築現場で木材はもちろんのこと、素材別に廃棄物を分別している。<br>・紙の裏面使用。   | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br><KPI><br>総廃棄物発生量 212.3t/年 (R8 年時点)<br>・1 現場当たり廃棄物発生量 R4 年比較で R6 年 5%削減、R8 年 10%削減。<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・毎週の工務会議で工程の効率化を進め、工期短縮を図ることで現場で出る廃棄物を減らす。<br>・分別した廃棄物のリサイクル活用の検討。<br>・廃棄物を減らすため、無解体のリフォームについても取り組んでいく。  |
| 9  | <b>環境配慮型商品・サービスの提供</b><br><u>※環境に関する内容を記載してください</u>               | ○ | <b>【主な取組】</b><br>・とっとり健康省エネ住宅 NE-ST を推奨し、T-G2 レベルで ZEH を県民の皆様をはじめ、施工業者の方への普及に取り組んでいる。<br>・既存住宅の省エネ改修を行っている。   | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・ZEH (Nearly ZEH 含) 住宅 100%。(R5 年以降)<br>(※R3 年実績 95%、R4 年実績 100%)<br>・NE-ST T-G2 以上 100%にする。(R6 年)<br>(※R3 年実績 T-G1 11%、T-G2 83%、T-G3 6%、R4 年実績 T-G1 0%、T-G2 93%、T-G3 7%)<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・ホームページや SNS で健康省エネ住宅や当社の実績について情報発信していく。<br>・これまで実施したことのない消費者向けのとっとり健康省エネ改修住宅の完成見学会などを積極的に実施していく。 |
| 10 | <b>環境面での社会貢献</b><br><u>※環境に関する内容を記載してください</u>                     | ○ | <b>【主な取組】</b><br>・建築関係者向けにとっとり健康省エネ改修住宅の完成見学会を行っており、自社のみならず省エネ改修を行える施工業者を増やすことで、鳥取県の既存住宅の省エネ改修の普及に取り組んでいる。<br>・事務所周辺、モデルハウス、現場周辺の清掃を行い、街の美化につとめている。<br>・大雪の際には除雪を行い、周辺環境の整備に貢献している。   | <b>【今後の目標・達成時期】</b><br>・建築関係者向けにとっとり健康省エネ改修住宅の完成見学会などを年 1 回程度実施し、省エネ改修の普及に貢献する。<br>・端材を使った職場体験(大工)イベント(年 1 回)を開催する。<br><br><b>【目標達成に向けた取組】</b><br>・既存住宅の省エネ改修に積極的に取り組む。<br>・OB 様などにイベントを企画し、県産材や省エネなどについて周知する。   |